

「平和構築人材育成事業」行政事業レビュー

正誤表

番号	誤	正
(1)	受託者（HPC）の平成24年度事業の事務局経費が5千1百万円とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、27,401,069円である。
(2)	受託者（HPC）の平成24年度事業の研修経費が5千7百万円とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、46,060,539円である。
(3)	受託者（HPC）の平成24年度事業の行事費が3百万円とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、1,515,470円である。
(4)	受託者（HPC）の平成23年度事業平成24年度継続部分の事務局経費が2千5百万円とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、18,246,325円である。
(5)	受託者（HPC）による平成24年度の「執行率」が「99.7%」とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、83.6%である。
(6)	受託者（HPC）による平成23年度の「執行率」が「99.9%」とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、90.3%である。
(7)	受託者（HPC）による平成22年度の「執行率」が「94.7%」とされている（外務省HP掲載「レビューシート」）	実際には、79.1%である。
(8)	HPCの役員が広島大学教授の者がいる。（外務省HP掲載「とりまとめ」）／6月18日事業行政レビュー公開プロセスにおけるレビューチーム発言）	実際には、広島大学教授のHPC役員はいない。広島大学関係者でHPCの役員になっている者はいない（事業レベル従事のみ）。
(9)	HPCから広島大学への再委託は利益相反である。（外務省HP掲載「とりまとめ」）／6月18日事業行政レビュー公開プロセスにおけるレビューチーム発言）	実際には、HPCと広島大学とは企画書作成段階から共同事業体の関係にあることが説明されており、再委託契約の形をとるのは、外務省が一者としてしか契約しない方針をとっているからにすぎない。

		い。
(10)	HPC と特定非営利活動法人ピースビルダーズは相互に受注して相手を下請けに出し合っている。(外務省 HP 掲載「とりまとめ」)	実際には、両者の間で再委託契約が結ばれたことは一度もない。本事業を離れても、一度もない。

- * なお事務局経費は、HPC 作成の見積書においても、執行額とほぼ同額である。5,100 万円という数字は、執行額からも見積額からもかけ離れている。これは実施者である HPC とは一切関係のない数字である。
- * HPC 作成の見積書においては、研修経費については、実際の執行額より大きな額面となっていたが、これは国際航空券価格を、市場価格からはかけ離れた外務省指定の固定費で、見積計算するように外務省が命じていたためである。そのため発生した残額は、精算後に返納した。